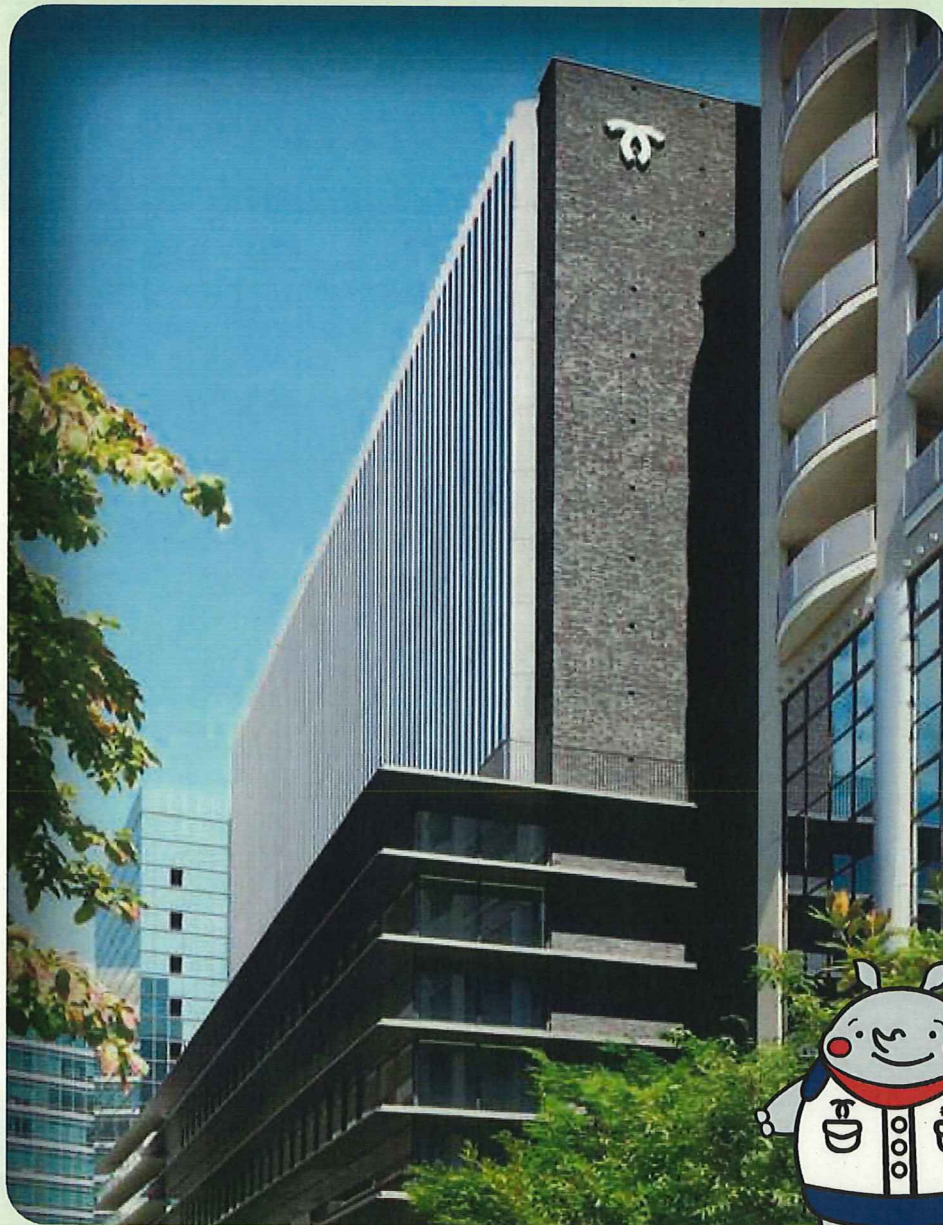


神戸市役所4号館 〔危機管理センター〕



神戸市

市長あいさつ



神戸市では「神戸2010ビジョン」の中の重点テーマ「あらゆる危機に
 対応できるまちづくりの推進」、また神戸づくりを戦略的に進めて行く実行
 計画としての役割を担う「神戸2015ビジョン」に掲げる「いのちをまもる」
 に基づき、危機管理体制の充実・強化に努めており、「減災」をキーワード
 に、風水害や将来に予想される東南海・南海地震などへの対応を始めとす

る、安全都市推進のための施策に取り組んでおります。

「減災」のための取り組みには、防災福祉コミュニティを始めとする、地域力の強化があ
 ります。

これは震災により市民に芽生えた、「自助」「共助」の精神に根差した「しくみ」で、
 神戸市の「減災」の根幹をなすものです。

一方で行政の「しくみ」として、危機管理室の設置など、震災を教訓とした特色ある体制
 づくりや、施策を押し進めてきたところです。

こうした「しくみ」をより有効に機能させるため、市が一体的な危機対応を行う中枢拠点
 として、風水害や震災を含めたあらゆる危機に対応できるよう、今まで以上の機能が求めら
 れており、新たに「神戸市危機管理センター」を整備いたしました。

この「神戸市危機管理センター」を拠点として、同時に整備した「新危機管理情報システム」
 「消防新管制システム」「デジタル防災行政無線」などを活用することで、災害発生時に初動
 対応から災害の全容を早期に把握し、災害救助や応援要請等にかかる意思決定や市民・関係
 機関等への情報提供を迅速かつ効率的に行い、危機管理体制の維持・向上を図ってまいりま
 す。

神戸市危機管理センターの運営の基本方針

1. 初動体制の強化
2. 危機情報の共有体制の強化
3. 地域防災力の強化

施設の整備方針

1. 災害に強い危機管理の「拠点づくり」
2. 人と環境にやさしい「庁舎づくり」
3. 『デザイン都市・神戸』らしい「まちなみづくり」



施設の整備方針

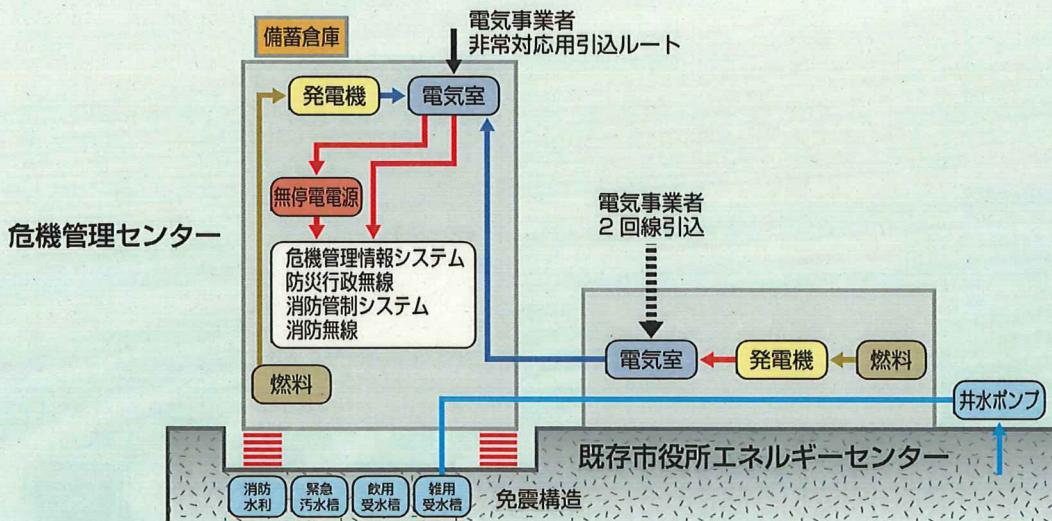
1 災害に強い危機管理の「拠点づくり」

① 免震構造

大地震時の揺れは、建物本体に加えコンピューター機器など内部の収容物にも大きな影響を与えます。危機管理センターでは危機発生時の初動を担う拠点施設として免震構造を採用し、一般的な耐震構造と比べ大地震時の揺れを1/3程度に低減することで、情報システムをはじめとした諸機能の維持を実現します。

② 非常用電源等

危機管理センターには専用で3日間は稼働する非常用発電機を9階に設置し、市庁舎の電源とあわせて多重化を図ることにより情報システム等への電源供給をより確実なものとしします。また、断水への対応として、地下に飲用受水槽・雑用受水槽（井水利用）・緊急汚水槽を設けるとともに、9階に食糧・水・毛布等を保管する備蓄倉庫を設け、職員が3日間は活動が可能となる機能・設備とされています。



〔危機管理センター災害対策概要〕

③ 本部長会議室 (1階)

本部長会議室は、災害対策本部が設置された際、その最高意思決定機関として設置されます。本部長会議室は、神戸市の対応方針等を決定し、また、その構成は、本部長（市長）、副本部長（副市長）、危機管理監及び本部長（各局室区の長）等40数名から成ります。

本部長会議室には、災害情報などを写し出す大型の映像装置を設置しています。



〔災害対策本部（イメージ）〕

④防災展示室・研修室（プレスコーナー）〔1階〕

防災展示室・研修室は、①地震・津波災害対策、②風水害対策をコンセプトとし、市民の防災意識向上・地域防災力の向上・震災教訓の発信を目的とした防災学習拠点です。

常設展示は、①防災ゲーム・教材、②防災グッズ、③災害時の連絡・応急手当、④耐震・家具転倒防止、⑤床面ハザードマップ、⑥防災教育マニュアル・書籍、⑦パネル掲示・広報 にコーナーを分けて、それぞれ特色のある展示を行っています。

また、特別企画として、NPOと連携して夏休みなどに親子防災学習会を実施したり、大学と連携して防災講習を開催することを企画しています。危機発生時には、速やかにプレスセンターを設置し、マスコミ機関への情報提供を統括的に行うことにより、市民へ迅速かつ広範囲に情報提供を行います。

⑤オペレーションセンター〔2階〕

オペレーションセンターは、危機発生時に災害情報の収集、活動方針の決定及び指揮、関係機関との調整、市民への情報伝達などを行う場所で、必要に応じ、消防や警察等関係機関も集まります。

ここでは、被害情報の把握や活動方針を決定するツールとしての危機管理情報システム、消防の監視カメラの映像を写す大型の映像装置、情報の収集用テレビ、関係機関等への連絡用の電話・FAX・無線等を設置しています。

また、市民へ災害情報を伝える重要な手段である、防災行政無線放送用の無線操作室も2階に設置しており、避難勧告等の情報をここから直接伝える事が出来ます。



〔オペレーションセンター活動状況（イメージ）〕



〔無線操作室〕

⑥消防管制室〔4階〕

消防管制室は、119番通報を受信し、消防車・救急車の出動指令を行います。

神戸市内の119番はすべてここで受信しています。

消防管制室は、十分な広さと天井高を確保し、情報共有のための大型映像装置などの視認性を確保するほか、消防部隊運用の更なる効率化を目指した消防新管制システムを導入しています。



〔消防管制室 全景〕



〔消防管制室〕

⑦ 水道局フロア [6～8階]

水道は、都市基盤の1つとして、市民生活や産業活動に欠くことのできないものです。
危機管理センター6階から8階は、重要なライフラインを担う水道局のフロアです。

フロアは、デスクや書棚等のレイアウトの自由度を高めるよう、柱の数を最小限に留めたロングスパン構造として広い空間を実現するとともに、西日対策として建物外側に縦ルーバーを設置、快適な執務スペースの確保に配慮しています。



(レイアウトの自由度が高い事務フロア)

② 人と環境にやさしい「庁舎づくり」

- ① 階段やエレベーターについては、ゆったりとした勾配と幅の広い階段、身体障害者対応エレベーター等利用しやすいものとし、またバリアフリー動線を確保することや、分かりやすい案内サインの掲示に努めるとともに、「こうべ・だれでもトイレ」を設置しています。
- ② 自然光や自然換気を活用するほか、建物の断熱化や高効率の空調機器・LED照明器具の採用等により、エネルギー消費を抑制しています。
- ③ オペレーションセンター・消防作戦室・会議室・執務スペースは、レイアウト変更が容易で機器の更新も行いやすいように、自由度の高い空間としています。

① 太陽光発電 (10kw)
(-)3トン/年



④ 屋上緑化 (約 60 m²)
(-)0.1トン/年



② 節水型便器
センサー水栓
井戸水利用
(-)3トン/年



⑤ 日射のエコ・ルーバー
(-)3トン/年



③ 高効率トランス
人感センサー
昼光利用
LED・高効率照明
(-)67トン/年



⑥ 外気空調
個別空調
(-)39トン/年



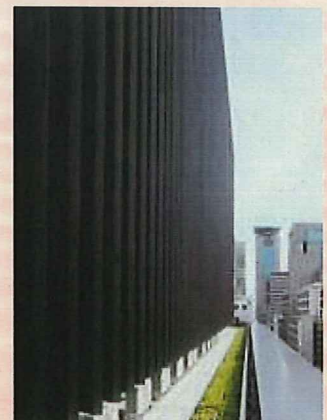
(危機管理センター導入の新エネ・省エネメニュー)



(こうべ・だれでもトイレ)



(屋上緑化・太陽光発電)



(日射のエコルーバー)

3 『デザイン都市・神戸』らしい「まちなみづくり」

① 建設地は、景観形成地域に指定されている旧居留地に位置します。その歴史的環境に配慮しながら、神戸の都市業務地にふさわしい先進性と風格を兼ね備えた外観としました。

また、建設地から発掘された明治時代のレンガ建物の発掘物を用い、モニュメントを設置する等『デザイン都市・神戸』らしいまちなみづくりに努め、都心の快適な空間づくりを行っています。

② 往来に面して広場空間（公開空地）を設け、1階を総ガラス張りとし建物内外の一体感をもって街の“にぎわい”を創ってゆきます。

また、ガラスウォールには旧居留地の通り名称、筋名称をデフォルメしたグラフィックデザインを施すとともに、照明設備を備えており、夜間景観形成へも配慮しています。



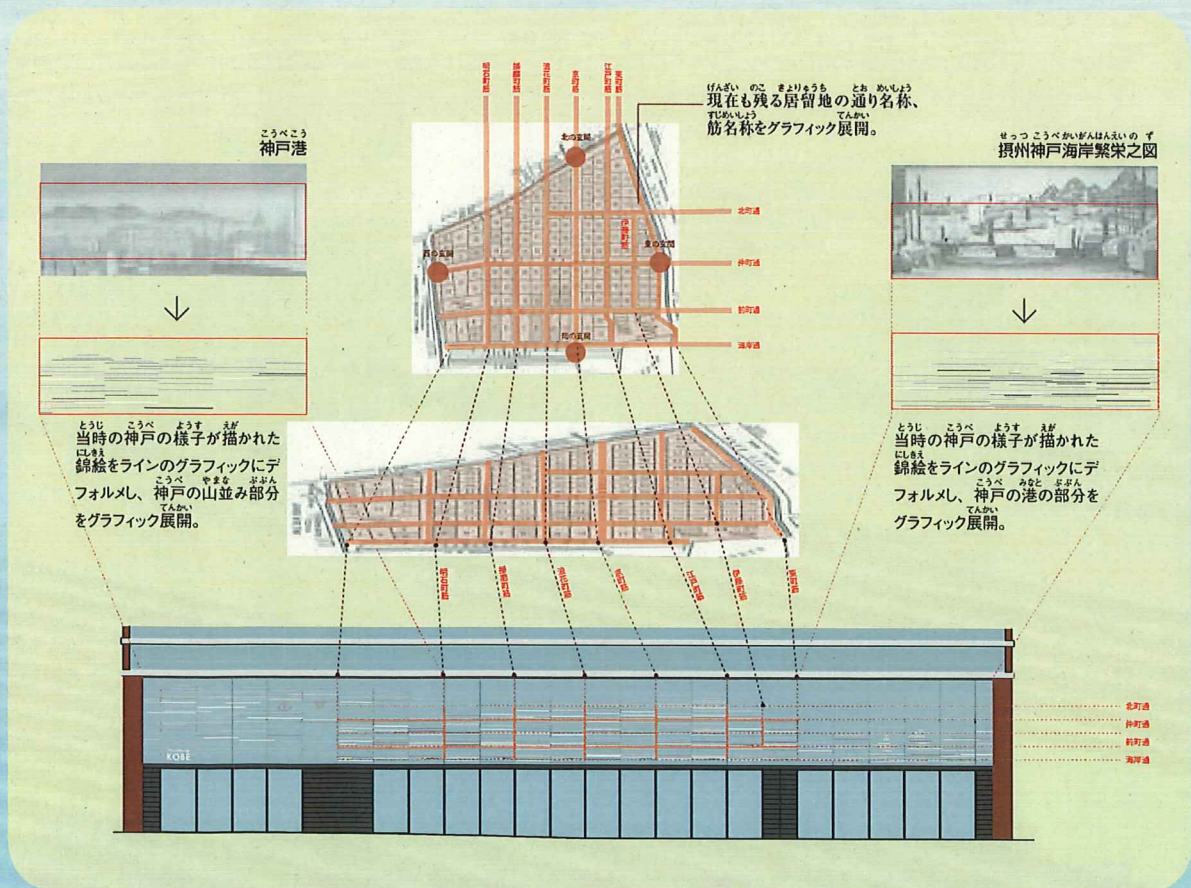
〔広場空間（公開空地）〕



〔夜間景観形成〕



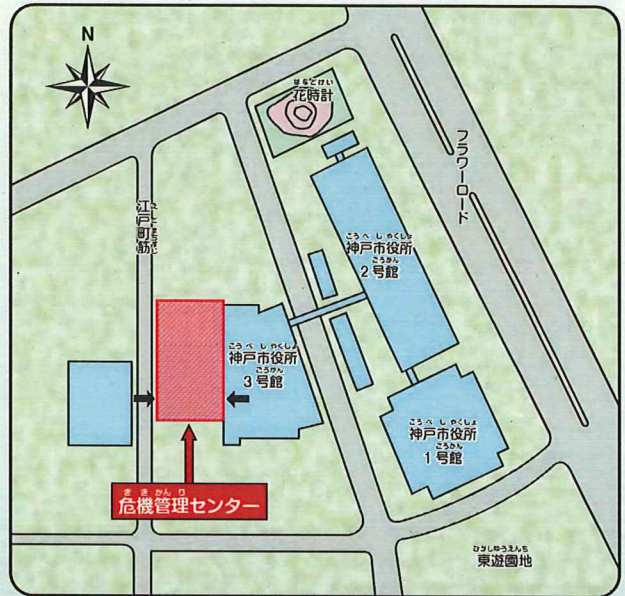
〔文化財モニュメント〕



〔ガラスウォール環境グラフィック〕

建築概要

- 建設地：兵庫県神戸市中央区江戸町97-1他
- 地域地区：商業地域（建蔽率80%/容積率700%）、高度地区指定なし、防火地域、中央駐車場整備地区、地区計画（旧居留地地区）、旧居留地都市景観形成地域
- 前面道路幅員：西側（江戸町筋）11.5m
- 計画地面積：約1,350㎡
- 延べ面積：約9,190㎡
- 建築面積：約1,130㎡
- 駐車台数：20台
- 階数：地上9階、地下1階、塔屋1階
- 1階床高：海拔 3.4m
- 軒高：海拔 45.3m
- 最高高さ：海拔 49.0m
- 基準階高：4.8m（1~4F）
4.1m（5~8F）
- 構造：鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリー
ト造、一部鉄筋コンクリート造
（中間免震構造）

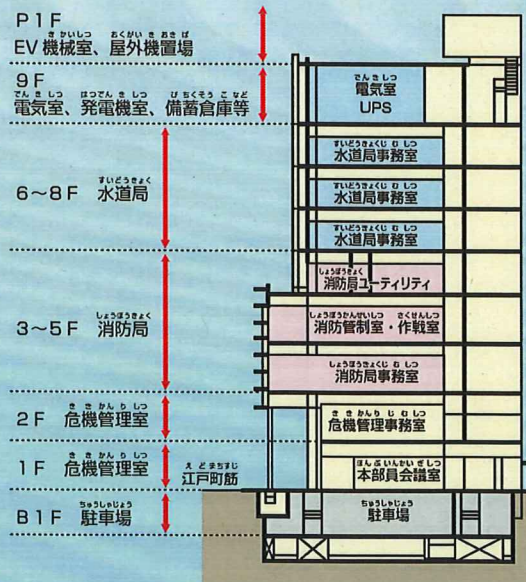


※海拔 (T.P.)

東京湾平均海面 (Tokyo Peil)。全国の標高の基準となる海水面の高さである。東京湾中等潮位とも呼ばれる。実際の測量の基準点としては、日本水準原点が使われ、T.P.上24.4140m と定義されている。

施設構成

- P1 階：EV機械室、屋外機置場
- 9 階：電気室、発電機室、備蓄倉庫等
- 8 階：水道局
- 7 階：水道局
- 6 階：水道局
- 5 階：消防局
- 4 階：消防局（管制室、作戦室）
- 3 階：消防局
- 2 階：危機管理室
（オペレーションセンター、無線操作室）
- 1 階：本部員会議室、防災展示室・
研修室（プレスコーナー）
- B1 階：駐車場



神戸市役所3号館



どすこい防サイくん

はんしん あわじだいしんさい けいけん じじょ きょうじょ せいしん しみん
阪神・淡路大震災の経験から、「自助」「共助」の精神で市民とともに
ぼうさいいしき こうじょう はび とし こうべ まいしん
に防災意識の向上を図るため、「『デザイン都市・神戸』推進のため
れんけいきょうりょく かん きょうてい こうべがいじつこうかだいがく きょうどうじぎょう
の連携協力に関する協定」により、神戸芸術工科大学との共同事業
により危機管理センター竣工とともに誕生したキャラクターです。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

神戸市

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

電話：078-331-8181

平成24年1月11日 発行